

Title	ON時間OFF時間
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2017
Jtitle	新版 窮理図解 No.24 (2017. 2) ,p.6- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000024-0006

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

古川良明の 文字を探す旅

100 以上はあるとされる世界の文字。いつか完全制覇を目指して、旅に出ます。

ルクソール (エジプト)

古代文字と言えばヒエログリフ。写真はルクソールにあるラムセス3世の葬祭殿ですが、あまりのスケールの大きさに圧倒されるばかり。今でもエジプトの至る所でヒエログリフを見ることができ、文字の「強さ」を感じることができます。ヒエログリフがアルファベットの原型であること、ご存知ですか？



シカゴ (アメリカ)

シカゴ郊外のエヴァンストンという町に留学していましたが、シカゴにもよく遊びにいきました。高層ビルが建ち並ぶ町で、どのビルも個性的で美しい。ポーランド・アイルランド・イスラエルからの移民が多く、いろいろな言語が飛び交う大都会。冬は、写真にあるミシガン湖が凍ってしまうぐらいの寒さになります。



チチェン・イツァ (メキシコ)

ヒエログリフと双璧をなすのがマヤ文字。非常に複雑なデザインですが、解説書を片手に一つずつ丹念に向き合っていると、意味が分かることがあって感激します。写真は、チチェン・イツァ遺跡のククルカンピラミッド。現在は上ることは禁止されていますが、急な階段は相当な恐怖でした。



プノンペン (カンボジア)

東南アジアは文字の宝庫ですが、そのほとんどはインド最初の文字「ブラーフミー文字」が起源です。日本にも梵字として伝来し、五十音図の完成に貢献しました。それにしても東南アジアのバイタリティーはすごい！私も原付きバイクの後ろに乗せられて、カンボジアを旅しました。



新疆ウイグル自治区

漢字とアラビア文字が交わる場所。シルクロードとして異文化の交流地であったことを今でも感じることができます。最果ての地、カシュガルでは、ウイグル語の音を漢字表記した看板が町に溢れ、いわば「万葉仮名」に囲まれたような不思議な世界。タクラマカン砂漠の砂嵐も猛烈でした。



マチュピチュ (ペルー)

インカ文明は文字を持たなかったと言われていたが、紙一枚も入れることができないほど、石を精密に積み上げて建造物を作る技術はさすがの一言。峻険な山並みに、石造りのインカ遺跡が所々に見られ、まさに歴史が息づく場所です。マチュピチュ近くにあるクスコは非常に穏やかで、これまでに訪れた中で最も美しい町の一つです。

